

令和5年度 学生募集要項

—音楽学部—

[一般選抜]
[社会人選抜]
[私費外国人留学生選抜]

□障がい等を有する等の入学志願者との事前相談の申し出期限
令和5年1月19日(木)午後5時まで

□出願期間
令和5年1月23日(月)～2月3日(金)
※2月3日(金)郵送発信局消印有効

□試験日程
(前期日程試験)
○音楽表現専攻声楽コース：令和5年2月25日(土)、27日(月)
○音楽表現専攻ピアノコース：令和5年2月26日(日)、27日(月)
○音楽表現専攻弦楽コース：令和5年2月26日(日)、27日(月)
○音楽表現専攻管打楽コース：令和5年2月25日(土)、27日(月)
○音楽表現専攻作曲理論コース：令和5年2月25日(土)～2月27日(月)
○音楽文化専攻：令和5年2月25日(土)～2月27日(月)
○琉球芸能専攻琉球古典音楽コース：令和5年2月26日(日)、27日(月)
○琉球芸能専攻琉球舞踊組踊コース：令和5年2月25日(土)、27日(月)
(追試験)
全専攻・全コース：令和5年3月23日(木)、24日(金)

□集合時刻・場所
集合時刻・試験会場等の詳細については、各専攻・コースの試験日前日の午後3時に管理棟入口前(首里当蔵キャンパス)で掲示及び本学ホームページ(<http://www.okigei.ac.jp>)に掲載するので必ず確認すること。

□合格者の発表
(前期日程試験)
令和5年3月6日(月)午後2時 ※本学ホームページ掲載(合格通知書の発送)
(追試験)
令和5年3月28日(火)午前10時 ※本学ホームページ掲載(合格通知書の発送)

□入学手続期間
令和5年3月8日(水)～3月15日(水)
3月15日(水)午後5時までに必着

◇試験日に新型コロナウイルス感染症等に罹患し受験できなかった入学志願者は追試験を受験することができます。*
◇新型コロナウイルス感染拡大によって、入試科目の見直し、試験方法及び日程の変更を行う場合があります。その場合は大学ホームページで告知します。

*追試験の受験には、医師の診断書が必要です。詳細については対象者に本学より連絡を行います。

令和4年8月
 **沖縄県立芸術大学**
OKINAWA PREFECTURAL UNIVERSITY OF ARTS

〒903-8602 沖縄県那
覇市首里当蔵町1丁目4番地
電話 (098) 882-5080

<http://www.okigei.ac.jp>
メールアドレス kyomu@okigei.ac.jp

令和5年度 沖縄県立芸術大学 音楽学部学生募集要項

目 次

第1	アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、 ディプロマ・ポリシー	-----	1
第2	募集人員	-----	4
第3	一般選抜		
1	出願資格	-----	4
2	選抜方法等	-----	5
3	個別学力検査等の試験科目と日程	-----	7
4	出願手続	-----	9
5	受験票	-----	11
6	受験上の注意	-----	11
7	不正行為	-----	12
8	合格者の発表	-----	13
9	入学手続	-----	13
10	入試成績開示	-----	14
第4	学校推薦型選抜	-----	14
第5	社会人選抜		
1	出願資格	-----	14
2	選抜方法等	-----	15
3	出願手続	-----	15
4	受験票	-----	17
5	受験上の注意	-----	17
7	不正行為	-----	18
7	合格者の発表	-----	18
8	入学手続	-----	18
9	その他	-----	19
第6	私費外国人留学生選抜		
1	出願資格	-----	19
2	選抜方法等	-----	19
3	個別学力検査等の試験科目と日程	-----	19
4	出願手続	-----	19
5	受験票	-----	21
6	受験上の注意	-----	21
7	不正行為	-----	21
8	合格者の発表	-----	22
9	入学手続	-----	22
10	その他	-----	22
◎	学生生活	-----	23
◎	一般選抜出願用書類		
○	社会人選抜志願理由書		
○	出願書類等一覧表【一般選抜（前期日程試験・私費外国人留学生選抜）】		
○	出願書類提出用封筒（一般（前期日程試験）・社会人・私費外国人留学生選抜共通）		

令和5年度 沖縄県立芸術大学 音楽学部学生募集要項

第1 アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー

沖縄県立芸術大学アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー

■アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

1 教育の理念

沖縄県立芸術大学の建学の基本的な精神は、沖縄文化が造りあげてきた個性の美と人類普遍の美を追究することにあります。これに基づき、伝統芸術の継承と発展にとどまらず、新たな芸術創造の可能性を広げ、幅広く芸術分野で活躍できる人材を育成していきます。さらに、学生の専門的力量を高め、豊かな人間性と社会性を身につける教育を目指します。

2 本学の求める人材

- ・本学の教育の理念をよく理解し、学習に必要な基礎的知識・技能を備えている人
- ・芸術に強い関心があり、自ら課題を発見し解決するための思考力や判断力、表現力を備えている人
- ・多様な芸術文化に興味を持ち、主体的に人々と協働し、現代社会に向けて新しい芸術創造の営みを発信していく意欲に満ちた人

3 入学者選抜区分

- ・本学では一般選抜、学校推薦型選抜及び社会人選抜を実施します。

4 入学者選抜試験の基本方針と実施

- ・一般選抜においては、大学及び各学部のアドミッションポリシーに基づき、大学入学共通テストの成績を利用した選抜試験と個別学力検査等（実技検査、小論文、口述試験、面接等）を実施します。なお、大学入学共通テストについて、美術工芸学部では、国語、外国語及びその他任意の1科目の合計3科目を試験科目として課します。音楽学部では、国語、外国語の合計2科目を試験科目として課します。
- ・学校推薦型選抜においては、実技検査、小論文、面接等を実施します。
- ・音楽学部の社会人選抜においては、個別学力検査等（専攻試験、小論文等）を実施します。

■カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

沖縄県立芸術大学のカリキュラムは、ディプロマ・ポリシーに掲げる学修成果を獲得できるよう、4年間を通して全学教育科目を選択履修し、全学年にわたり専門分野の実技や理論を基礎から高度な内容まで、段階的に履修することを基本に授業科目を編成します。

その上で、さまざまな技術や学問を幅広く主体的に学べるよう配慮し、学生の多様な個性を尊重しつつ、自ら感性を磨き、社会との関係を考え発信していく能力を高める教育を行います。

■ディプロマ・ポリシー（卒業認定、学位授与の方針）

沖縄県立芸術大学では、大学及び各学部の教育理念に沿った専門教育と教養教育において成果をあげ、最終学年における卒業作品又は卒業論文の提出あるいは卒業演奏を経て、所定の卒業単位を取得した学生に対し、学士（芸術）の学位を授与します。

その際、学生が獲得しておくべき学修成果は以下のとおりです。

- 1 美術工芸又は音楽の分野における基本的な知識を体系的に理解し、その知識体系の意味と自己の存在を歴史や文化、社会と関連付けて理解している。
- 2 知的活動や職業生活、社会生活においても必要となるコミュニケーション能力、論理的思考力、問題解決力などの汎用的基礎能力を身につけている。
- 3 卒業後も社会的責任を認識し、生涯を通じて自律的に学び続ける能力を身につけている
- 4 1から3までの知識や能力等を総合的に活用し、創造的な思考力をもって自らの課題を探求し、解決する能力を身につけている。

音楽学部アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー

沖縄県立芸術大学音楽学部では、沖縄の地で育まれた個性の美である伝統芸能はもとより、西洋・東洋にわたる芸術音楽を体系的に研究教授し、将来、実演家、教育者、研究者をはじめとして、音楽芸術分野において社会に貢献できる人材の養成をめざします。

豊かな表現力と高い技術力、そして理論的思考力を涵養し、それらを総合して現代社会に新たな価値をもたらすことのできる人材を育成します。

■アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

大学の教育理念に基づき、沖縄県立芸術大学音楽学部では、沖縄で育まれた個性ある音楽・芸能及び普遍的価値を持つ音楽芸術の体系的な研究を通じ、それらの継承発展とともに新たな芸術創造に寄与できる人材育成を目指します。そのために、専門分野における知識・技能を深めるとともに、広い視野を持って思考し、問題解決を行うために必要な教養を身につける教育を行います。

【求める人材】

音楽学部の教育を達成するために、次に掲げる知識・技能や能力(思考力・判断力・表現力等)、目的意識・意欲等を備えた人材を求めます。

- 1 本学及び音楽学部のポリシーを十分理解し、大学での学習に自律的に取り組むことのできる人
- 2 音楽学部における学習に必要な基礎的知識・技能及び課題解決のための思考力・判断力・表現力を備えている人
- 3 自身の知識・技能をさらに伸ばし、将来、演奏家、作曲家、実演家、研究者又は教育者など、音楽・芸能分野における専門家となる意欲のある人
- 4 芸術創造の営みについて、現代社会との関わりの中で思考し、主体性を持って多様な人々と協働する意欲のある人
- 5 音楽や舞踊、沖縄における芸術文化や本学での学びに関心がある人

【入学者選抜試験の基本方針と実施】

音楽学部においては、学部の教育理念を踏まえ、各専攻の専門性に沿った試験を課し評価します。その際、大学入学前に学んでおくべき内容・水準について、募集要項と併せて公表する『試験曲』によって明示するものとします。また、専攻ごとに設定された多様な入試科目において、学力の3要素（「基礎的な知識・技能」「思考力・判断力・表現力等の能力」「主体性・多様性・協働性」）を総合的に評価します。なお、入試区分及び募集枠ごとに、総合点に基づき合格者の選抜を行います。

各入試区分における評価方法は以下の通りです。

- 1 一般選抜では、大学入学共通テストにおいて国語、外国語の2科目を課し、大学での学習に必要な知識・技能、思考力等を測り評価します。また、個別学力検査等において、専攻試験（実技検査、小論文、口述試験等）、音楽に関する基礎能力検査（楽典、聴音、新曲視唱、副科ピアノ等）及び面接を課し、専門分野における基礎的能力、主体性及び将来性を測り評価します。本区分においては、全般的な学習能力について総合的に評価します。面接においては多面的・総合的な評価を行うために、調査書及び志願者本人の記載する資料等を活用します。
- 2 学校推薦型選抜では、専攻試験（実技検査、小論文、口述試験等）、音楽に関する基礎能力検査（楽典、聴音、新曲視唱、副科ピアノ等）及び面接を課し、大学での学習に必要な知識、技能及び主体性等を測り評価します。本区分においては、専門分野における高い能力、調査書及び志願者本人の記載する書類等をもとに実施する面接等における評価を重視します。また、高等学校長からの推薦書を活用します。
- 3 社会人選抜では、専攻試験（実技検査、小論文、口述試験等）を課し、大学での学習に必要な知識、技能、思考力及び主体性などを測り評価します。本区分では、専攻実技の習熟度及び小論文・口述試験の内容を重視し評価します。

■カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

沖縄県立芸術大学音楽学部では、ディプロマ・ポリシーに掲げる学修成果を獲得できるよう、大学カリキュラム・ポリシーを基本に、以下のとおりカリキュラムを編成し、実施します。

- 1 学生の多様な資質・能力を伸長するための少人数による教育
- 2 専門教育（主要科目）における、4年間にわたる段階的履修
- 3 各専門分野における基本的知識・技能を培うための、必修科目を中心とした体系的・横断的な科目編成
- 4 自然や地域、言語、芸術諸分野及び一般教養など幅広い教養を通して、汎用的基礎能力を身に付け

るための全学教育科目の編成

- 5 学生の多様な関心や課題発見を促し自律的に学習できる選択科目の提供
- 6 様々な学びを統合し、地域・社会との連携を通して、芸術（音楽・芸能）と社会との関係を学ぶ科目の提供

学修成果の評価は、評価の観点を示した上で授業科目の到達目標の達成度を基準に、演奏・演舞・作品・実践・レポート・筆記試験等により行います。

■ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

沖縄県立芸術大学音楽学部では、大学ディプロマ・ポリシーに基づき、以下に掲げる学修成果を修め、最終学年における卒業演奏又は卒業作品、卒業論文、卒業研究の提出を経て、所定の卒業単位を取得した学生に対し、学士（芸術）の学位を授与します。

- 1 音楽・伝統芸能の各分野における基礎的知識、技能について体系的に理解している。
- 2 音楽・伝統芸能の各分野における基礎的知識、技能について歴史、文化、社会、自然と関連付けて理解できている。
- 3 課題解決に必要な汎用的能力（論理的思考力、情報リテラシー、コミュニケーション・スキル等）を身につけている。
- 4 各分野の専門的な知識・技能と研究能力を身につけている。
- 5 卒業後も社会における自己の役割を認識し、生涯を通じて自律的に学び続ける能力を身につけている。
- 6 獲得した知識や能力等を活用し、自らの課題を発見し解決する能力を身につけている。

第2 募集人員

学科・専攻別募集人員は、次のとおりである。

学 科	専 攻	コ ー ス	入 学 定 員	募 集 人 員				
				一 般 選 抜		学 校 推 薦 型 選 抜	社 会 人 選 抜	私 費 外 国 人 留 学 生 選 抜
				前 期	後 期			
音 楽 学 科	音 楽 表 現 専 攻	声 楽	23	17	0	6	0	若干名
		ピ ア ノ						
		弦 楽						
		管 打 楽						
		作 曲 理 論						
	音 楽 文 化 専 攻	沖 縄 文 化	7	4	0	3	0	若干名
		音 楽 学						
	琉 球 芸 能 専 攻	琉 球 古 典 音 楽	10	5	0	5	若干名	若干名
		琉 球 舞 踊 組 踊						
	計			40	26	0	14	若干名

注1：学校推薦型選抜の入学手続き完了者が募集人員に満たない場合は、満たない分を前期日程の募集人員に加える。

注2：社会人選抜・私費外国人留学生選抜の募集人員は、ともに一般選抜の前期日程の募集人員に含む。

第3 一般選抜

1 出願資格

次の各号の一に該当し、かつ、本学音楽学部が指定する令和5年度大学入学共通テストの教科・科目（6ページの別表参照）を受験した者

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和5年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程により、これに相当する学校教育を修了した者を含む。）及び令和5年3月修了見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び令和5年3月修了見込みの者並びにこれに準ずる者で学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号。以下「法施行規則」という。）第150条第1号の規定により文部科学大臣の指定したもの
- (4) 文部科学大臣が法施行規則第150条第2号の規定により高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和5年3月修了見込みの者
- (5) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の法施行規則第150条第3号の規定により文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が同号の規定により指定するものを文部科学大臣が同号の規定により定める日以後に修了した者
- (6) 法施行規則第150条第4号の規定により文部科学大臣の指定した者
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同令附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び令和5年3月31日までに合格見込みの者
- (8) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達したもの（事前に資格認定審査を行うので、令和4年10月14日（金）までに本学教務学生課に申し出ること。）

2 選抜方法等

(1) 選抜方法

音楽学部的一般選抜は、分離・分割方式の前期日程により行う。2段階選抜、帰国子女等の特別選抜、定員一部保留第2次募集は行わない。

(2) 合否判定基準

第1次試験の合否判定は、専攻別試験のそれぞれの成績によって行う。ただし、音楽文化専攻においては大学入学共通テストの成績も、第1次試験の合否判定に用いる。

最終合否判定は、専攻別試験、音楽に関する基礎能力検査及び大学入学共通テストの得点、並びに調査書の結果を総合的に判断して合格者を決定する。

(3) 大学入学共通テスト

受験を要する教科・科目及び配点等は、6ページの別表による。

ア 音楽学部 音楽学科 音楽表現専攻

【専攻試験】 } 詳細については、別冊子「令和5年度音楽学部試験曲」
【音楽に関する基礎能力検査】 } に記載する。

【面接】

人物の志向性や学習を行う意欲、芸術を志す者としての資質さらに表現力をみるため、5～10分程度の面接を実施する。

イ 音楽学部 音楽学科 音楽文化専攻

【専攻試験】 } 詳細については、別冊子「令和5年度音楽学部試験曲」
【音楽に関する基礎能力検査】 } に記載する。

【面接】

人物の志向性や学習を行う意欲、芸術を志す者としての資質さらに表現力をみるため、5～10分程度の面接を実施する。

ウ 音楽学部 音楽学科 琉球芸能専攻

【専攻試験】 } 詳細については、別冊子「令和5年度音楽学部試験曲」
【音楽に関する基礎能力検査】 } に記載する。

【面接】

人物の志向性や学習を行う意欲、芸術を志す者としての資質さらに表現力をみるため、5～10分程度の面接を実施する。

(4) 追試験

試験日に新型コロナウイルス感染症等に罹患し受験できなかった入学志願者は、令和5年3月23日（木）、令和5年3月24日（金）に追試験として受験することができる。その場合は医師の診断書の提出が必要。

詳細については対象者に本学より連絡を行う。

令和5年度 沖縄県立芸術大学 入学者選抜試験の実施教科・配点等について

学部及び入学年度 〔志願倍率〕	学科	学定員等 等	学力検査等の区分・日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等						
				教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	外国語 *英(R:L)	専攻試験	音楽に関する基礎能力検査	面接	配点合計
音楽学部 (1.9) 40人 前期26 推薦14	音楽学科 40人 前期26 推薦14	音楽表現 専攻 推薦6	学校推薦 型選 抜 11/19～ 20	免除		その他	〔音楽コース〕 実技検査、コンピュータミュージック、楽典、 聴音または新曲視唱、副科ピアノ、面接 〔ピアノコース〕 実技検査、楽典、聴音、新曲視唱、面接 〔弦楽・管打楽コース〕 実技検査、楽典、聴音または新曲視唱、副科ピアノ、面接 〔作曲理論コース〕 口述試験、聴音、楽典、副科ピアノ、面接	個別学力検査等			500	200	50	750
							〔沖縄文化コース〕 小論文、口述試験、楽典、 音楽または舞踊の実技、面接 〔音楽学コース〕 小論文、口述試験、楽典、 聴音または新曲視唱、副科ピアノ、面接	個別学力検査等			500	200	50	750
							〔琉球古典音楽コース〕 実技検査、楽典、面接 〔琉球舞踊組踊コース〕 実技検査、初見視唱、楽典、面接	個別学力検査等			600	100	50	750
							〔音楽コース〕 実技検査、コンピュータミュージック、楽典、 聴音または新曲視唱、副科ピアノ、面接 〔ピアノコース〕 実技検査、楽典、聴音、新曲視唱、面接 〔弦楽・管打楽コース〕 実技検査、楽典、聴音または新曲視唱、副科ピアノ、面接 〔作曲理論コース〕 実技検査、口述試験、楽典、聴音、副科ピアノ、面接	大学入学共通テスト 個別学力検査等 計	100 50:50		550 200		50 50	200 800 1000
							〔沖縄文化コース〕 小論文、口述試験、楽典、 音楽または舞踊の実技、面接 〔音楽学コース〕 小論文、口述試験、楽典、 聴音または新曲視唱、副科ピアノ、面接 〔琉球古典音楽コース〕 実技検査、楽典、面接 〔琉球舞踊組踊コース〕 実技検査、初見視唱、楽典、面接	大学入学共通テスト 個別学力検査等 計	200 160:40		400 200		50 50	400 650 1050
音楽学部 (1.9) 40人 前期26 推薦14	音楽学科 40人 前期26 推薦14	音楽表現 専攻 前期17	一般選 抜 2/25～ 2/27	国を必ず受験 英,独,仏,中,韓から1を必ず受験 (英語はリスニングテストを含む。) 〔2教科2科目〕	国語 外国 語	その他	〔琉球古典音楽コース〕 実技検査、楽典、面接 〔琉球舞踊組踊コース〕 実技検査、初見視唱、楽典、面接	大学入学共通テスト 個別学力検査等			600		50	750
						〔音楽コース〕 実技検査、コンピュータミュージック、楽典、 聴音または新曲視唱、副科ピアノ、面接 〔ピアノコース〕 実技検査、楽典、聴音、新曲視唱、面接 〔弦楽・管打楽コース〕 実技検査、楽典、聴音または新曲視唱、副科ピアノ、面接 〔作曲理論コース〕 実技検査、口述試験、楽典、聴音、副科ピアノ、面接	大学入学共通テスト 個別学力検査等 計	100 50:50		550 200		50 50	200 800 1000	
						〔沖縄文化コース〕 小論文、口述試験、楽典、 音楽または舞踊の実技、面接 〔音楽学コース〕 小論文、口述試験、楽典、 聴音または新曲視唱、副科ピアノ、面接 〔琉球古典音楽コース〕 実技検査、楽典、面接 〔琉球舞踊組踊コース〕 実技検査、初見視唱、楽典、面接	大学入学共通テスト 個別学力検査等 計	200 160:40		400 200		50 50	400 650 1050	
						〔琉球古典音楽コース〕 実技検査、楽典、面接 〔琉球舞踊組踊コース〕 実技検査、初見視唱、楽典、面接	大学入学共通テスト 個別学力検査等 計	100 50:50		600 150		50 50	200 800 1000	
						〔琉球古典音楽コース〕 実技検査、小論文、口述試験、面接 〔琉球舞踊組踊コース〕 実技検査、初見視唱、小論文、口述試験、面接	大学入学共通テスト 個別学力検査等 計	100 50:50		600 350 (注)		50 50	200 1000 1000	
音楽学部 (1.9) 40人 前期26 推薦14	音楽学科 40人 前期26 推薦14	琉球芸能 専攻 前期5	社会人	免除		その他	〔琉球古典音楽コース〕 実技検査、小論文、口述試験、面接 〔琉球舞踊組踊コース〕 実技検査、初見視唱、小論文、口述試験、面接	大学入学共通テスト 個別学力検査等			600		50	1000
						〔音楽コース〕 実技検査、コンピュータミュージック、楽典、 聴音または新曲視唱、副科ピアノ、面接 〔ピアノコース〕 実技検査、楽典、聴音、新曲視唱、面接 〔弦楽・管打楽コース〕 実技検査、楽典、聴音または新曲視唱、副科ピアノ、面接 〔作曲理論コース〕 実技検査、口述試験、楽典、聴音、副科ピアノ、面接	大学入学共通テスト 個別学力検査等 計	100 50:50		550 200		50 50	200 800 1000	
						〔沖縄文化コース〕 小論文、口述試験、楽典、 音楽または舞踊の実技、面接 〔音楽学コース〕 小論文、口述試験、楽典、 聴音または新曲視唱、副科ピアノ、面接 〔琉球古典音楽コース〕 実技検査、楽典、面接 〔琉球舞踊組踊コース〕 実技検査、初見視唱、楽典、面接	大学入学共通テスト 個別学力検査等 計	200 160:40		400 200		50 50	400 650 1050	
						〔琉球古典音楽コース〕 実技検査、楽典、面接 〔琉球舞踊組踊コース〕 実技検査、初見視唱、楽典、面接	大学入学共通テスト 個別学力検査等 計	100 50:50		600 150		50 50	200 800 1000	
						〔琉球古典音楽コース〕 実技検査、小論文、口述試験、面接 〔琉球舞踊組踊コース〕 実技検査、初見視唱、小論文、口述試験、面接	大学入学共通テスト 個別学力検査等 計	100 50:50		600 350 (注)		50 50	200 1000 1000	

(注) 社会人選抜では、小論文および口述試験とする。

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

(1) 本学では、大学入学共通テストの過年度成績は利用しない。

(2) 英語については、リーディング(R)とリスニング(L)の配点を(R:L)と表し、その合計得点を各専攻の外国語の配点に換算して利用する。

3 個別学力検査等の試験科目と日程

一般選抜の個別学力検査等に係る試験科目と試験日程は、次のとおりである。

(1) 試験科目

試験科目 専攻・ コース名		専攻試験 (第1次試験)					音楽に関する基礎能力検査 (第2次試験)					面接
		実技検査	コールユー ブソング	初見 視唱	小論文	口述試験	楽典 (※注2)	聴音	新曲視唱	副科 ピアノ	音楽又は 舞踊の実 技 (※注3)	
音楽表現	声楽	◎	◎				◎	○	○	◎		◎
	ピアノ	◎					◎	◎	◎			◎
	弦楽	◎					◎	○	○	◎		◎
	管打楽	◎					◎	○	○	◎		◎
	作曲理論	◎				◎	◎	◎		◎		◎
音楽文化	沖縄文化				◎	◎	◎				◎	◎
	音楽学				◎	◎	◎	○	○	◎		◎
琉球芸能	琉球古典音楽	◎					◎					◎
	琉球舞踊組踊	◎		◎			◎					◎

注1：◎印は、受験者が必ず受験しなければならない科目。○印は、出願時に、「いずれか1つの科目を選択する」を示す。

注2：沖縄文化コース及び琉球芸能専攻の楽典については、音楽表現専攻及び音楽学コースの楽典とは別問題とする。

注3：音楽又は舞踊の実技の種目は問わない。

注4：声楽、弦楽、管打楽、琉球古典音楽コース入学志願者の専攻試験の種目は以下のとおりである。

(声楽) ソプラノ、メゾソプラノ、アルト、カウンターテノール、テノール、バリトン、バス

(弦楽) ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス

(管打楽) フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、サクソフォーン、ホルン、トランペット、テナー・トロンボーン、バス・トロンボーン、チューバ、打楽器 (A：小太鼓、B：マリンバ)

(琉球古典音楽) 歌三線、琉球箏曲

注5：弦楽コースのヴァイオリンを第1志望とする入学志願者は、第2志望としてヴィオラを受験することができる。その場合には、第1志望の試験科目の他に第2志望の実技検査を受験しなければならない。

注6：各専攻の個別学力等(実技検査を含む)については、第1次試験と第2次試験に分けて実施するが、第2次試験については、第1次試験合格者についてのみ実施する。

【併願可能な専攻・コース】

第2志望		音楽表現					音楽文化		琉球芸能	
		声楽	ピアノ	弦楽	管打楽	作曲理論	沖縄文化	音楽学	琉球古典音楽	琉球舞踊組踊
第1志望										
音楽表現	声楽					○	○	○		
	ピアノ	○				○	○	○		
	弦楽					○	○	○		
	管打楽					○	○	○		
	作曲理論	○					○	○		
音楽文化	沖縄文化							○	○	○
	音楽学	○					○			
琉球芸能	琉球古典音楽						○			○
	琉球舞踊組踊						○		○	

注：併願の場合には、第1志望の試験科目（専攻試験、音楽に関する基礎能力検査）に加えて、第2志望の専攻試験を受験しなければならない。

ただし、

- ① 音楽学コースと沖縄文化コースを併願する場合は、音楽に関する基礎能力検査では音楽学コースの科目を受験すること。
- ② 音楽表現専攻の各コースと沖縄文化コースを併願する場合は、音楽に関する基礎能力検査では、受験する音楽表現専攻各コースの試験科目を受験すること。
- ③ 第2志望で作曲理論コースを併願する場合は、音楽に関する基礎能力検査では作曲理論コースの試験科目を受験すること。（ピアノコースを除く）

(2) 試験日程

専攻・ コース 月日	音楽表現					音楽文化		琉球芸能	
	声楽	ピアノ	弦楽	管打楽	作曲理論	沖縄文化	音楽学	琉球古典音楽	琉球舞踊組踊
令和5年 2月25日 (土)	課題曲 自由曲 コール・オブ・ソング			音階演奏 課題曲	作曲実技	小論文	小論文		課題曲 自由曲 初見演技 初見視唱
2月26日 (日)		課題曲A 課題曲B 課題曲C	音階演奏 課題曲		口述試験	口述試験	口述試験	調弦 課題曲 自由曲	
	一次発表 (17:00以降)								
2月27日 (月)	楽典 聴音 又は 新曲視唱	楽典 聴音 新曲視唱	楽典 聴音又は新曲視唱	楽典 聴音	楽典	楽典	楽典 聴音 又は 新曲視唱	楽典	
	副科ピアノ					音楽又は 舞踊の実技	副科ピアノ		
	面接								

注意：この日程は予定であり、志願状況によって変わることがある。

追試験 令和5年3月23日（木）、24日（金） 詳細は該当者に連絡する。

(3) 試験内容及び試験曲等

試験内容及び試験曲等については、別冊子「令和5年度音楽学部試験曲」（8月下旬、本学HPにて公表予定）に記載されている。

4 出願手続

(1) 出願期間は、令和5年1月23日（月）から2月3日（金）までとする。ただし、2月3日（金）までの郵送発信局消印があるものは有効とする。

（注意）外国から直接出願する場合は、郵送発信局消印日付に関わりなく日本時間の2月3日（金）午後5時までに到着したものを有効とする。

(2) 出願方法

本入学試験はオンライン出願で行う。大学ホームページからオンライン出願ページに進み出願手続を行うこと。

オンライン出願の際は、入学考査料支払後に入学志願票が入手可能となる。

入学考査料について

ア 17,000円（納入方法はオンライン出願ページの指示に従い、令和5年2月3日（金）までに納付すること。クレジットカード、コンビニ支払、ペイジー（Pay-easy）による納付が可能）。

※領収書の提出は不要。

イ 別途手数料がかかるため留意すること。

ウ いったん納入した入学考査料は原則返還しない。

出願に際しては、入学志願票を含む下記書類を郵送（書留郵便で速達）する必要があり、その手続までが
出願手続となるので留意すること。書類の提出は出願期間最終日の消印があるものに限り受理する。

* 出願手続きについては「オンライン出願ページ」の注意事項を参照のこと。

オンライン出願ページ (URL:<http://www.okigei.ac.jp/examination/application-online.html>)

出願書類等	摘 要
①入学志願票	<p>ア 入学考査料支払後に、登録したメールアドレスにマイページのURLが送付されるため、マイページから入学志願票をカラー印刷し提出すること。氏名は戸籍に記入されている文字を正しく入力すること。現住所は願書記入時の住所でよい。（以下の書類も同様に）</p> <p>イ 入学志願票には上半身、無帽、正面、出願前3ヶ月以内に撮影したカラー写真データを用意し、オンライン出願ページでアップロードすること。</p> <p>また、共通テスト成績請求票を日程別に出力した入学志願票の貼付欄に貼り付けること。</p> <p>※受験票は、本学にて出願書類受理後にマイページから入手可能となる。</p>
②調査書※	<p>以下、ア、イのいずれかに該当する書類を提出すること。</p> <p>ア 調査書 文部科学省所定の様式に従い、出身学校長が証明したもの（原本・開封無効）を提出すること。 *ただし、指導要録の保存期間の経過、廃校、被災その他の理由により出身学校長から調査書が得られない場合は、下記の書類を全て提出すること。 ・卒業証明書 ・成績証明書 *上記、成績証明書が発行できない場合は、それに代わる書類または出身学校長からの「成績証明書を発行できない旨の文書」をあわせて提出すること。 *廃校等により出身学校長の証明が得られない場合は、出身学校を所管する教育委員会または知事が作成したこれらに関する書類をあわせて提出すること。 *日本語以外の言語で作成されている場合は日本語訳を添付すること。</p> <p>イ 合格成績証明書 高等学校卒業程度認定試験合格者（大学入学資格検定合格者含む）は、調査書に代えて当該試験の合格成績証明書を提出すること。なお、合格証明書は不要とする。ただし、高等学校で修得した科目がある場合は、高等学校の調査書も必ず提出すること。</p>
③旅券の写し等 (外国人のみ)	外国人は、旅券の写しを提出すること。なお、在留カードを所持する者は表裏両面の写しも提出すること。
④住民票抄本等 (県内に住所を有する 該当者のみ)	<p>入学志願者本人が配偶者、又は一親等親族が令和4年4月1日以前から県内に住所を有する者は、合格した場合に入学料が軽減されるので、該当者の住民票抄本を提出すること。</p> <p>なお、住民票抄本が提出されない場合、入学料の算定は県外在住者と同様に扱う。</p> <p>また、配偶者又は一親等親族の住民票抄本を提出する場合、入学志願者本人との親族関係が確認できる戸籍謄本も提出すること。</p>
⑤その他※	<p>音楽表現専攻声楽コース入学志願者は、次の伴奏用楽譜を提出すること。</p> <p>自由曲</p> <p>ア 提出楽譜は返却しない。</p> <p>イ 提出楽譜の大きさは1ページA4判を基準とする。</p> <p>ウ 提出楽譜は、印刷楽譜のコピーを用いること。または黒のペン又はボールペンで正確に写されたものでもよい。</p> <p>エ 提出楽譜は、表紙（A4判）を付けること。</p> <p>オ 提出楽譜は、表紙に曲目、調、氏名を明記すること。</p> <hr/> <p>音楽表現専攻作曲理論コース入学志願者は、作曲又は編曲作品の楽譜を出願時に提出すること。口述試験時に提出作品の控えを持参すること。</p> <hr/> <p>音楽文化専攻沖縄文化コース入学志願者は音楽又は舞踊の実技の録音媒体を提出すること。</p> <hr/> <p>琉球芸能専攻琉球舞踊組踊コース入学志願者は、課題曲・自由曲の録音媒体（カセットテープ・CD・MD）を提出すること。</p>

(3) 出 願 先

〒903-8602 沖縄県那覇市首里当蔵町1丁目4番地

沖縄県立芸術大学事務局教務学生課

電話 098-882-5080（直通）

(4) 出願上の注意

- ア 本学の前期日程に出願する場合は、他の同日程で試験を行う国公立大学・学部には重複出願できない。
- イ 入学志願者は、本学が課した大学入学共通テストの教科・科目を受験していることを確認してから出願すること。
- ウ 他の国公立大学・学部の学校推薦型選抜合格者は、当該学校推薦型選抜を実施する大学・学部の定める推薦入学辞退手続きにより辞退した場合を除いて、本学を受験することができない。たとえ受験しても、受験者として扱われない。
- エ 本学前期日程試験に合格し令和5年3月15日（水）までに入学手続きを行った者は、他の国公立大学・学部の「公立大学中期日程（旧C日程）」試験及び「後期日程」試験を受験していてもその合格者とならない。
- オ 出願後は、志望専攻（コース）の変更を認めない。
- カ 出願書類に記入漏れ、その他不備のある場合は受理しない。
- キ 入学願書等の記載事項に虚偽の記載がある場合は、入学後でも入学許可を取り消すことがある。
- ク 声楽コース入学志願者及び声楽コースを第2志望とする入学志願者は、次の中から声種を1つ選択し、出願すること。
ソプラノ、メゾソプラノ、アルト、カウンターテノール、テノール、バリトン、バス
- ケ 弦楽コース、管打楽コース入学志願者は、次の楽器の中から1種を選択し、出願すること。
（弦楽器）ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス
（管打楽器）フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、サクソフォーン、ホルン、トランペット、テナートロンボーン、バストロンボーン、チューバ、打楽器（A：小太鼓、B：マリンバ）
- コ 弦楽コースのヴァイオリンを第1志望とする入学志願者のうち、ヴィオラを第2志望とする入学志願者は、願書の該当する項目を選択し、出願すること。
- サ 琉球芸能専攻琉球古典音楽コース入学志願者及び琉球古典音楽コースを第2志望とする入学志願者は、次の中から1種を選択し、出願すること。
歌三線、琉球箏曲
- シ 声楽、弦楽、管打楽、音楽学コースの入学志願者は、聴音と新曲視唱のいずれかを選択し、出願すること。

(5) 障がい等を有する等の入学志願者との事前相談について

障がいのある者等は、受験上及び修学上の配慮を必要とする可能性があるため、令和5年1月19日（木）午後5時までに申し出ること。

また、申し出に基づき相談が必要となった場合は以下による。

- ア 相談の方法 相談申込書（健康診断書等必要書類添付）を提出するものとし、必要な場合は、本学において入学志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談等を行う。
- イ 連絡先 沖縄県立芸術大学事務局教務学生課 電話番号 (098) 882-5080
- ウ 本学がこれまでに実施した入学試験における配慮事項については、本学ホームページ『入試情報』において公表する。

5 受験票

- (1) 受験票は、本学にて出願書類受理後にマイページからダウンロードできるようになるので各自で印刷し、試験当日に必ず携帯すること。
- (2) 令和5年2月13日（月）までに、マイページから受験票がダウンロードできない時は、本学教務学生課に連絡すること。

6 受験上の注意

- (1) 試験当日は、「本学受験票」と「大学入学共通テスト受験票」の両方を必ず携帯すること。
- (2) 試験に関する諸事項（日程、科目、集合時刻等）の連絡は、管理棟入口前（首里当蔵キャンパス）で掲示及び本学ホームページ（<http://www.okigei.ac.jp>）に掲載する。

- ア この募集要項に示した試験日程は、出願者の状況によって若干の変更をすることがあるので、必ず受験者自身で試験前日に確認すること。また、実技試験における演奏順を確認すること。
- イ 試験日程、試験場配置図及び集合時刻等は、2月24日（金）の午後3時に掲示（掲載）する。ただし、ピアノコース、弦楽コース、琉球古典音楽コースは2月25日（土）の午後3時に掲示（掲載）する。
- ウ 実技試験の演奏順等の掲示（掲載）に記載する番号は、本学の受験番号である。
- エ 第2志望を出願した者は、受験すべき科目を間違えないよう特に注意すること。
- (3) 受験者は、指定時刻に試験場内の指定の場所に集合すること。なお、試験当日は、交通の状況等も考慮して、余裕を持って試験場に向かうこと。
- (4) 集合時刻に遅れた者は、原則として受験を許可しない。ただし、やむを得ない事情（公的事情）により遅刻した場合は、ただちに試験場本部に申し出ること。
- (5) 指定の練習室以外の場所（集合場所、控室、廊下等）での発声又は楽器の練習を禁止する。
- (6) 試験で使用する楽器のうち、ピアノ、打楽器、マリンバ以外は各自持参すること。ただし、コントラバス、箏は本学で準備したものを使用してもよい。
- (7) 試験で使用する稽古着（長着）、小道具は各自持参すること。
- (8) 実技試験では、時間の都合により、演奏の一部省略又は中断を求めることがある。
- (9) 試験時間中は、監督者の指示に従うこと。
- ア 受験者の実技試験中における演奏順は、監督者の指示による。
- イ 筆記試験の際は、机には指定された用具のみを置くこと。それ以外の物は監督者の指示した場所に置くこと。
- ウ 試験中に身体の具合が悪くなった場合は、監督者に申し出ること。
- (10) 試験の内容に関する質問には、一切答えない。
- (11) 試験当日は、構内への自動車、オートバイ等の乗り入れを禁止する。
- (12) 携帯電話等の通信・記録機器は、試験場に入る前に電源を切ること。
- (13) 試験が午後にわたるときは、昼食を持参することが望ましい。
- (14) 試験期間中は、受験者以外の者の構内への立ち入りを禁止する。
- (15) 忘れ物等については、1週間以内に申し出ること。
- (16) 本学では、宿泊施設等の紹介はしないので、受験者各自で確保すること。
- (17) 試験中に不正行為が発覚した場合は、失格とする。また、試験の実施後に不正行為が発覚した場合についても、失格または合格取消とする。

7 不正行為

1 試験中に不正行為が発覚した場合は、失格とする。また、試験の実施後に不正行為が発覚した場合についても、失格または合格取消とする。

次のことをすると不正行為とする。

- ・入学志願者本人以外の者による試験解答への関与
- ・監督者の指示に従わない場合
- ・本項記載事項の他、入学試験に関し各種要項で禁止されている事項に反した場合
- ・試験に関する内容についてオンライン等を含め、第三者が閲覧、視聴できるような状態にすること
- ・その他、円滑な試験実施を阻害するとみなされる一切の行為

2 上記1以外にも、次のことをすると不正行為となることがある。指示に従わず、不正行為と認定された場合の取扱いは、1と同様とする。

- ・許可された時間や場所以外で、携帯電話、スマートフォン、腕時計型端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類やイヤホン、ヘッドセットをかばんなどにしまわず、身に付けていたり手に持っていること。
- ・指定された持参用具以外の物の持ち込み・使用を発見した場合。
- ・「第6 受験上の注意」に記載されている電子機器類の使用に関する注意事項に反する行為

8 合格者の発表

(1) 第1次試験合格者の発表は、9ページの「試験日程」に示した日時に本学ホームページ (<http://www.okigei.ac.jp>) に受験番号を掲載する。

(2) 最終合格者の発表

令和5年3月6日(月)午後2時に本学ホームページ (<http://www.okigei.ac.jp>) に受験番号を掲載するとともに、本人あてに合格通知書及び入学者心得(入学手続書類)を日本国内の合格通知受信場所へ郵送する。なお、本学への直接の問い合わせには応じない。

ホームページによる合格者等案内

- (1) 入学志願者状況案内 1月31日(火) 10:00～2月14日(火) 17:00
- (2) 合格者発表案内 3月6日(月) 14:00～3月19日(日) 17:00

(3) 追試験合格者の発表

令和5年3月28日(火)午前10時に本学ホームページ (<http://www.okigei.ac.jp>) に受験番号を掲載する。合格者には入学意思の確認を行うので、当日は確実に連絡できるようにしておくこと。

(4) 追加合格者の発表

入学手続終了後、入学定員に欠員が生じた場合には、3月28日(火)以降に「追加合格者の決定」を行い、本人に直接連絡(電話等)するので、3月28日(火)から3月31日(金)までの間、確実に連絡できるようにしておくこと。(連絡は大学から行い、受験者からの問い合わせには応じない。)

9 入学手続

(1) 入学手続期間

令和5年3月8日(水)～3月15日(水)午後5時までに必着

入学手続書類は、「書留郵便で速達」とし、令和5年3月15日(水)午後5時までの必着とする。
(注意) 消印が3月15日以前であっても3月15日午後5時を過ぎて到着したものは受け付けない。

(2) 提出書類

- ア 誓約書兼個人情報の取扱いに関する同意書(本学指定様式)
- イ 高等学校卒業証明書又は卒業見込証明書
- ウ 大学入学共通テスト試験受験票(入学手続後、本人に返送)
- エ 入学料領収書の写し(A4サイズでコピー) ※原本の提出は不要
- オ その他(合格通知書とともに送付する入学者心得に詳細説明)

(3) 入学料の納入

- ア 入学料 県内居住者 282,000円
県内居住者以外の者 512,000円

※県内居住者：入学の日(4月1日)の1年以前から引き続き県内に住所を有する者、あるいは、入学の日(4月1日)の1年以前から引き続き県内に住所を有する配偶者又は1親等の親族のある者。

- イ 納入期限 入学料は本学指定の納入通知書により入学手続時までに納入すること。
※入学料以外の授業料・学外研究費については、23ページの「学生生活」を参照。

(4) 入学料の減免について

申請条件 原則として高等学校の学業成績が3.0以上の者で、かつ、次の各号の一に該当する者を対象に、全額免除又は2分の1減額の可否を審査し決定する。

- ①天災その他不慮の災害により、学費の負担に堪えられなくなった者
- ②生活保護法(昭和25年法律第144号)による保護を受けている者と同一世帯内にある者
- ③前記①、②のほか、特別の事情により学費の納付が著しく困難な者

(5) 手続場所

〒903-8602 沖縄県那覇市首里当蔵町1丁目4番地
沖縄県立芸術大学事務局教務学生課 電話 098-882-5080(直通)

(6) 留意事項

- ア 令和5年3月15日(水)までに入学手続を完了しなかった者は、入学の意思がなく入学を辞退したものととして取り扱う。なお、入学を辞退する者は、入学手続期間内に入学辞退届(本学指定様式)を提出すること。
- イ 本学への入学手続を完了した者は、これを取り消して、他の国公立大学に入学手続を取ることはできない。
- ウ いったん納入した入学料や授業料は、原則返還しない。

10 入試成績開示

沖縄県個人情報保護条例に基づき、入試成績については、口頭により受験者本人が自己の入試成績の開示を請求することができる。

(1) 開示内容

当該年度入試の個人成績を得点で開示する。

(2) 開示請求できる期間

令和5年4月14日(金)～令和5年5月15日(月) (午前9時から午後5時まで)
ただし、土・日・祝日等休業となる日は除く。

(3) 開示請求の受付を行う場所

沖縄県立芸術大学事務局教務学生課

(4) 開示の方法

本人部分のみ閲覧

(5) 開示請求に必要な書類

受験票のほか、学生証、運転免許証、旅券その他官公署の発行する証明書等の一つを持参すること。

(6) 開示請求

受験者本人が、口頭で本学教務学生課に申し出ること。

(7) その他

電話による開示内容の問い合わせには応じない。また、県内離島あるいは県外在住者で来学が困難な者の郵送での対応は、沖縄県個人情報保護条例に基づく手続が必要となる。手続方法については、沖縄県のホームページを参照のこと。

第4 学校推薦型選抜

学校推薦型選抜は、本学ホームページに掲載している「令和5年度学校推薦型選抜学生募集要項」による。

第5 社会人選抜

1 出願資格

次の各号の一に該当し、令和5年4月1日現在社会人(就職の有無は問わない)として4年以上経過し、かつ22歳以上の者

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者(通常の課程以外の課程により、これに相当する学校教育を修了した者を含む。)
- (3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及びこれに準ずる者で学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号。以下「法施行規則」という。)第150条第1号の規定により文部科学大臣の指定したもの
- (4) 文部科学大臣が法施行規則第150条第2号の規定により高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者

- (5) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の法施行規則第150条第3号の規定により文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が同号の規定により指定するものを文部科学大臣が同号の規定により定める日以後に修了した者
- (6) 法施行規則第150条第4号の規定により文部科学大臣の指定した者
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同令附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び令和5年3月31日までに合格見込みの者

2 選抜方法等

大学入学共通テストを免除し、志願理由書、履歴書等の出願書類及び実技、小論文、口述試験、面接の成績結果を総合的に判断して合格者を決定する。

(1) 試験科目

専攻・コース	試験科目	専攻試験		小論文	口述試験	面接
		実技検査	初見視唱			
	琉球古典音楽	◎		◎	◎	◎
	琉球舞踊組踊	◎	◎	◎	◎	◎

注1：◎印は、受験者が必ず受験しなければならない科目を示している。

注2：琉球古典音楽コース・琉球舞踊組踊コースのいずれかを第1志望とし、他を第2志望として出願することができる。

注3：琉球古典音楽コースを第1志望とし、琉球舞踊組踊コースを第2志望に出願する者は、琉球古典音楽コースの試験科目のほかに、琉球舞踊組踊コースの専攻試験（実技検査、初見視唱）を受験すること。

注4：琉球舞踊組踊コースを第1志望とし、琉球古典音楽コースを第2志望に出願する者は、琉球舞踊組踊コースの試験科目のほかに、琉球古典音楽コースの専攻試験（実技検査）を受験すること。

(2) 試験日程

専攻・コース	琉球芸能専攻	
	琉球古典音楽	琉球舞踊組踊
令和5年 2月25日（土）		課題曲・自由曲・初見演技 初見視唱
2月26日（日）	調弦・課題曲・自由曲	
	第1次試験合格者の発表（17:00以降）	
2月27日（月）	小論文、	口述試験、 面接

注意：この日程は予定であり、志願状況によって変わることがある。

追試験 令和5年3月23日（木）、24日（金） 詳細は該当者に連絡する。

(3) 試験内容及び試験曲等

試験内容及び試験曲等については、別冊子「令和5年度音楽学部試験曲」（8月下旬、本学HPにて公表予定）に記載されている。

3 出願手続

- (1) 出願期間は、令和5年1月23日（月）から2月3日（金）までとする。ただし、2月3日（金）までの郵送発信局消印があるものは有効とする。

（注意）外国から直接出願する場合は、郵送発信局消印日付に関わりなく日本時間の2月3日（金）午後5時までに到着したものを有効とする。

(2) 出願方法

本入学試験はオンライン出願で行う。大学ホームページからオンライン出願ページに進み出願手続を行うこと。

オンライン出願の際は、入学考査料支払後に入学志願票が入手可能となる。

入学考査料について

ア 17,000円（納入方法はオンライン出願ページの指示に従い、令和5年2月3日（金）までに納付すること。クレジットカード、コンビニ支払、ペイジー（Pay-easy）による納付が可能）。

※領収書の提出は不要。

イ 別途手数料がかかるため留意すること。

ウ いったん納入した入学考査料はいかなる理由があっても返還しない。

出願に際しては、入学志願票を含む下記書類を郵送（書留郵便で速達）する必要があり、その手続までが出願手続となるので留意すること。書類の提出は出願期間最終日の消印があるものに限り受理する。

*出願手続きについては「オンライン出願ページ」の注意事項を参照のこと。

オンライン出願ページ（URL:<http://www.okigei.ac.jp/examination/application-online.html>）

出願書類等	摘 要
①入学志願票	ア 入学考査料支払後に、登録したメールアドレスにマイページのURLが送付されるため、マイページから入学志願票をカラー印刷し提出すること。氏名は戸籍に記入されている文字を正しく入力すること。現住所は願書記入時の住所でよい。（以下の書類も同様に） イ 入学志願票には上半身、無帽、正面、出願前3ヶ月以内に撮影したカラー写真データを用意し、オンライン出願ページでアップロードすること。 ※受験票は、本学にて出願書類受理後にマイページから入手可能となる。
②最終学校の卒業証明書等	高等学校以上の最終学歴を証明する卒業証明書か高等学校卒業程度認定試験合格証明書（大学入学資格検定合格証明書含む）、又はその他14ページの出願資格を証明する書類等を提出すること。
③志願理由書	本学所定の用紙を使用して、本人自身が記入のうえ提出すること。
④旅券の写し等（外国人のみ）	外国人は、旅券の写しを提出すること。なお、在留カードを所持する者は表裏両面の写しも提出すること。
⑤住民票抄本等（県内に住所を有する該当者のみ）	入学志願者本人か配偶者、又は一親等親族が令和4年4月1日以前から県内に住所を有する者は、合格した場合に入学料が軽減されるので、該当者の住民票抄本を提出すること。 なお、住民票抄本が提出されない場合、入学料の算定は県外在住者と同様に扱う。 また、配偶者又は一親等親族の住民票抄本を提出する場合、入学志願者本人との親族関係が確認できる戸籍謄本も提出すること。
⑥その他※	琉球芸能専攻琉球舞踊組踊コース入学志願者は、課題曲・自由曲の録音媒体（カセットテープ・CD・MD）を提出すること。

(3) 出 願 先

〒903-8602 沖縄県那覇市首里当蔵町1丁目4番地
沖縄県立芸術大学事務局教務学生課 電話 098-882-5080（直通）

(4) 出願上の注意

ア 出願書類に記入漏れ、その他不備のある場合は受理しない。

イ 出願書類の受付後は、出願書類の返却及び記載事項の変更は一切認めない。

ウ 入学願書等の記載事項に虚偽の記載がある場合は、入学後でも入学許可を取り消すことがある。

エ 琉球古典音楽コース入学志願者及び琉球古典音楽コースを第2志望とする入学志願者は、次の中から1種を選択し出願すること。

歌三線、琉球箏曲

(5) 障がいのある等の入学志願者との事前相談について

障がいのある者等は、受験上及び修学上の配慮を必要とする可能性があるため、令和5年1月19日(木)午後5時までに申し出ること。

また、申し出に基づき相談が必要となった場合は以下による。

ア 相談の方法 相談申込書(健康診断書等必要書類添付)を提出するものとし、必要な場合は、本学において入学志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談等を行う。

イ 連絡先 沖縄県立芸術大学事務局教務学生課
電話番号 (098) 882-5080

ウ 本学がこれまでに実施した入学試験における配慮事項については、本学ホームページ『入試情報』において公表する。

4 受験票

(1) 受験票は、本学にて出願書類受理後にマイページからダウンロードできるようになるので各自で印刷し、試験当日に持参すること。

(2) 令和5年2月13日(月)までに、マイページから受験票がダウンロードできない時は、本学教務学生課に連絡すること。

5 受験上の注意

(1) 試験当日は、「本学受験票」を必ず携帯すること。

(2) 試験に関する諸事項(日程、科目、集合時刻等)の連絡は、管理棟入口前(首里当蔵キャンパス)で掲示及び本学ホームページ(<http://www.okigei.ac.jp>)に掲載する。

ア この募集要項に示した試験日程は、出願者の状況によって若干の変更をすることがあるので、必ず受験者自身で試験前日に確認すること。また、実技試験における演奏順を確認すること。

イ 試験日程、試験場配置図及び集合時刻等は、琉球舞踊組踊コースは2月24日(金)の午後3時に、琉球古典音楽コースは2月25日(土)の午後3時に掲示(掲載)する。

ウ 実技試験の演奏順等の掲示(掲載)に記載する番号は、本学の受験番号である。

エ 第2志望を出願した者は、受験すべき科目を間違えないよう特に注意すること。

(3) 受験者は、指定時刻に試験場内の指定の場所に集合すること。なお、試験当日は、交通の状況等も考慮して、余裕を持って試験場に向かうこと。

(4) 集合時刻に遅れた者は、原則として受験を許可しない。ただし、やむを得ない事情(公的事情)により遅刻した場合は、ただちに試験場本部に申し出ること。

(5) 指定の練習室以外の場所(集合場所、控室、廊下等)での発声又は楽器の練習を禁止する。

(6) 実技試験で使用する楽器のうち、三線は各自持参すること。箏は本学で用意するが、本人持参でもよい。また琉球舞踊組踊コースの実技試験には、稽古着(長着)、小道具は各自持参すること。

(7) 実技試験では、時間の都合により、演奏の一部省略又は中断を求めることがある。

(8) 試験時間中は、監督者の指示に従うこと。

ア 受験者の実技試験中における演奏順は、監督者の指示による。

イ 筆記試験の際は、机には指定された用具のみを置くこと。それ以外の物は監督者の指示した場所に置くこと。

ウ 試験中に身体の具合が悪くなった場合は、監督者に申し出ること。

(9) 試験の内容に関する質問には、一切答えない。

(10) 試験当日は、構内への自動車、オートバイ等の乗り入れを禁止する。

(11) 携帯電話等の通信・記録機器は、試験場に入る前に電源を切ること。

(12) 試験が午後にわたるときは、昼食を持参することが望ましい。

(13) 試験期間中は、受験者以外の者の構内への立ち入りを禁止する。

- (14) 忘れ物等については、1週間以内に申し出ること。
- (15) 本学では、宿泊施設等の紹介はしないので、受験者各自で確保すること。
- (16) 試験中に不正行為が発覚した場合は、失格とする。また、試験の実施後に不正行為が発覚した場合についても、失格または合格取消とする。

6 不正行為

一般選抜と同様の取り扱いとする（12ページ参照）。

7 合格者の発表

(1) 第1次試験合格者の発表は、15ページの「試験日程」に示した日時に本学ホームページ (<http://www.okigei.ac.jp>) に受験番号を掲載する。

(2) 最終合格者の発表

令和5年3月6日（月）午後2時に本学ホームページ (<http://www.okigei.ac.jp>) に受験番号を掲載するとともに、本人あてに合格通知書及び入学者心得（入学手続書類）を日本国内の合格通知受信場所へ郵送する。なお、本学への直接の問い合わせには応じない。

ホームページによる合格者等案内

- (1) 入学志願者状況案内 1月31日（火）10:00～2月14日（火）17:00
- (2) 合格者発表案内 3月6日（月）14:00～3月19日（日）17:00

(3) 追試験合格者の発表

令和5年3月28日（火）午前10時に本学ホームページ (<http://www.okigei.ac.jp>) に受験番号を掲載する。合格者には入学意思の確認を行うので、当日は確実に連絡できるようにしておくこと。

8 入学手続

(1) 入学手続期間

令和5年3月8日（水）～3月15日（水）午後5時までに必着

入学手続書類は、「書留郵便で速達」とし、令和5年3月15日（水）午後5時までの必着とする。
（注意）消印が3月15日以前であっても3月15日午後5時を過ぎて到着したものは受け付けない。

(2) 提出書類

- ア 誓約書兼個人情報の取扱いに関する同意書（本学指定様式）
- イ 入学料領収書の写し（A4サイズでコピー） ※原本の提出は不要
- ウ その他（合格通知書とともに送付する入学者心得に詳細説明）

(3) 入学料の納入

- ア 入学料 県内居住者 282,000円
県内居住者以外の者 512,000円

※県内居住者：入学の日（4月1日）の1年以前から引き続き県内に住所を有する者、あるいは、入学の日（4月1日）の1年以前から引き続き県内に住所を有する配偶者又は1親等の親族のある者。

- イ 納入期限 入学料は本学指定の納入通知書により入学手続時までに納入すること。
※入学料以外の授業料・学外研究費については、23ページの「学生生活」を参照。

(4) 入学料の減免について

一般選抜と同様に取り扱う。（13ページ参照）

(5) 手続場所 〒903-8602 沖縄県那覇市首里当蔵町1丁目4番地

沖縄県立芸術大学事務局教務学生課 電話 098-882-5080（直通）

(6) 留意事項

ア 令和5年3月15日（水）までに入学手続を完了しなかった者は、入学の意思がなく入学を辞退したものと取り扱う。なお、入学を辞退する者は、入学手続期間内に入学辞退届（本学指定様式）を提出すること。

イ 本学への入学手続を完了した者は、これを取り消して、他の国公立大学に入学手続を取ることはできない。

ウ いったん納入した入学料や授業料は、原則返還しない。

9 その他

社会人選抜の募集に関する上記以外の事項については、一般選抜の入学志願者に関する募集要項に定める事項に準じて扱う。

第6 私費外国人留学生選抜

1 出願資格

次の各号のすべてに該当し、かつ、入学時において18歳以上の者とする。

- (1) 日本の国籍を有しない者
 - (2) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び令和5年3月修了見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの（国際バカロレア資格、アビトゥア資格（ドイツ連邦共和国）又はバカロレア資格（フランス共和国）を取得した者を含む。）
 - (3) 独立行政法人日本学生支援機構が実施する2022年度（令和4年度）第1回又は第2回日本留学試験における出題言語を日本語とする日本語及び総合科目を受験した者
 - (4) 出入国管理及び難民認定法において、大学入学に支障のない在留資格（留学等）を有する者
 - (5) 修学に必要な日本語の能力を有する者（日本語能力試験N2レベル以上相当を目安とする。）
- （注意）日本の国籍を有しない者で、日本の高等学校における3年間の教育課程を履修し、かつ、卒業した者（令和5年3月卒業見込みの者を含む。）については、私費外国人としてではなく一般志願者と同様に扱う。

2 選抜方法等

大学入学共通テストを免除し、以下に掲げる内容を総合的に判断して合格者を決定する。

- ①2022年度（令和4年度）第1回又は第2回日本留学試験における出題言語を日本語とする日本語及び総合科目の成績
- ②一般志願者と同一の個別学力検査等を課した成績
- ③出願書類等

3 個別学力検査等の試験科目と日程

一般選抜と同様に実施する（7～9ページ参照）。ただし、大学入学共通テストは免除する。

4 出願手続

- (1) 出願期間 令和5年1月23日（月）から2月3日（金）までとする。（日本時間、以下同様）
日本国内から郵送するものは「書留郵便で速達」とし、2月3日（金）までの郵送発信局消印があるものは有効とする。
（注意）外国から直接出願する場合は、郵送発信局消印日付にかかわらず日本時間の2月3日（金）午後5時までに到着したものを有効とする。
- (2) 出願方法
本入学試験はオンライン出願で行う。大学ホームページからオンライン出願ページに進み出願手続を行うこと。
オンライン出願の際は、入学考査料支払後に入学志願票が入手可能となる。

入学考査料について

ア 17,000円（納入方法はオンライン出願ページの指示に従い、令和5年2月3日（金）までに納付すること。クレジットカード、コンビニ支払、ペイジー（Pay-easy）による納付が可能）。

※領収書の提出は不要。

- イ 別途手数料がかかるため留意すること。
- ウ いったん納入した入学考査料は原則返還しない。

出願に際しては、入学志願票を含む下記書類を郵送（書留郵便で速達）する必要がある、その手続までが
出願手続となるので留意すること。書類の提出は出願期間最終日の消印があるものに限り受理する。

* 出願手続きについては「オンライン出願ページ」の注意事項を参照のこと。

オンライン出願ページ (URL:<http://www.okigei.ac.jp/examination/application-online.html>)

出願書類等	摘 要
①入学志願票	<p>ア 入学考査料支払後に、登録したメールアドレスにマイページのURLが送付されるため、マイページから入学志願票をカラー印刷し提出すること。</p> <p>イ 「氏名（漢字）欄」は、入学志願者の旅券に記載の英字氏名で記入し、「氏名（カナ）欄」は、入学志願者の氏名をカタカナで記入すること。</p> <p>ウ 住所は、本学からの通知等が確実に受け取れる郵便番号・住所を記入すること。</p> <p>エ 「在留資格欄」は、入学志願者の有する在留資格について記入すること。</p> <p>オ 「最終学歴欄」は、卒業（修了）年月日、学校名、所在地を記入すること。</p> <p>カ 「資格試験欄」は、国際バカロレア資格等大学入学に必要な資格を取得している者はその取得年月日、名称を記入すること。</p> <p>キ 独立行政法人日本学生支援機構が実施した2022年度第1回又は第2回日本留学試験の受験番号を記入すること。</p> <p>ク 試験曲の選択など願書記入箇所が多いので、記入漏れがないよう特に気をつけること</p> <p>ケ 「学歴欄」は、すべての教育機関にわたって、学校名、所在地名、修業年限、入学年月日、卒業（修了）年月日を年月順に記入すること。</p> <p>コ 入学志願票には上半身、無帽、正面、出願前3ヶ月以内に撮影したカラー写真データを用意し、オンライン出願ページでアップロードすること。 <u>※受験票は、本学にて出願書類受理後にマイページから入手可能となる。</u></p>
②最終学校の卒業証明書及び成績証明書等	<p>日本の高等学校に相当する学校を卒業した者は卒業証明書及び成績証明書を、国際バカロレア資格等を有する者は資格証明及び成績証明書を提出すること。</p> <p>なお、日本の高等学校に相当する学校の卒業のうち学校教育年限の合計が12年に満たない者は、日本の文部科学大臣が指定した教育施設の修了証明書を合わせて提出すること。</p> <p>日本語以外の証明書は日本語訳も提出すること。</p>
③旅券の写し等	<p>旅券の写しを提出すること。なお、在留カードを所持する者は表裏両面の写しも提出すること。</p>
④住民票抄本等 (県内に住所を有する該当事者のみ)	<p>入学志願者本人が配偶者、又は一親等親族が令和4年4月1日以前から県内に住所を有する者は、合格した場合に入学料が軽減されるので、該当者の住民票抄本を提出すること。</p> <p>なお、住民票抄本が提出されない場合、入学料の算定は県外在住者と同様に扱う。</p> <p>また、配偶者又は一親等親族の住民票抄本を提出する場合、入学志願者本人との親族関係が確認できる戸籍謄本も提出すること。</p>
⑤その他※	<p>音楽表現専攻声楽コース入学志願者は、次の伴奏用楽譜を提出すること。</p> <p>自由曲</p> <p>ア 提出楽譜は返却しない。</p> <p>イ 提出楽譜の大きさは1ページA4判を基準とする。</p> <p>ウ 提出楽譜は、印刷楽譜のコピーを用いること。または黒のペン又はボールペンで正確に写されたものでもよい。</p> <p>エ 提出楽譜は、表紙（A4判）を付けること。</p> <p>オ 提出楽譜は、表紙に曲目、調、氏名を明記すること。</p> <hr/> <p>音楽表現専攻作曲理論コース入学志願者は、作曲又は編曲作品の楽譜を出願時に提出すること。口述試験時に提出作品の控えを持参すること。</p> <hr/> <p>音楽文化専攻沖縄文化コース入学志願者は音楽又は舞踊の実技の録音媒体を提出すること。</p> <hr/> <p>琉球芸能専攻琉球舞踊組踊コース入学志願者は、課題曲・自由曲の録音媒体（カセットテープ・CD・MD）を提出すること。</p>

(3) 出 願 先

〒903-8602 沖縄県那覇市首里当蔵町1丁目4番地
 沖縄県立芸術大学事務局教務学生課 電話 098-882-5080（直通）

(4) 出願上の注意

- ア 出願後は、志望専攻（コース）の変更を認めない。
- イ 出願書類に記入漏れ、その他不備のある場合は受理しない。
- ウ 入学願書等の記載事項に虚偽の記載がある場合は、入学後でも入学許可を取り消すことがある。
- エ **声楽コース入学志願者及び声楽コースを第2志望とする入学志願者**は、次の中から声種を1つ選択し、出願すること。
ソプラノ、メゾソプラノ、アルト、カウンターテノール、テノール、バリトン、バス
- オ **弦楽コース、管打楽コース入学志願者**は、次の楽器の中から1種を選択し、出願すること。
(弦楽器) ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス
(管打楽器) フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、サクソフォーン、ホルン、トランペット、テナートロンボーン、バストロンボーン、チューバ、打楽器 (A: 小太鼓、B: マリンバ)
- カ **弦楽コースのヴァイオリンを第1志望とする入学志願者のうち、ヴィオラを第2志望とする入学志願者**は、願書の該当する項目を選択し、出願すること。
- キ **琉球芸能専攻琉球古典音楽コース入学志願者及び琉球古典音楽コースを第2志望とする入学志願者**は、次の中から1種を選択し、出願すること。
歌三線、琉球箏曲
- ク **声楽、弦楽、管打楽、音楽学コースの入学志願者**は、聴音と新曲視唱のいずれかを選択し、出願すること。

(5) 障がい等を有する等の入学志願者との事前相談について

障がいのある者等は、受験上及び修学上の配慮を必要とする可能性があるため、**令和5年1月19日(木)午後5時までに**申し出ること。

また、申し出に基づき相談が必要となった場合は以下による。

- ア 相談の方法 相談申込書（健康診断書等必要書類添付）を提出するものとし、必要な場合は、本学において入学志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談等を行う。
- イ 連絡先 沖縄県立芸術大学事務局教務学生課 電話番号 (098) 882-5080
- ウ 本学がこれまでに実施した入学試験における配慮事項については、本学ホームページ『入試情報』において公表する。

5 受験票

- (1) 受験票は、本学にて出願書類受理後にマイページからダウンロードできるようになるので各自で印刷し、試験当日に持参すること。
- (2) 令和5年2月13日(月)までに、マイページから受験票がダウンロードできない時は、本学教務学生課に連絡すること。

6 受験上の注意

一般選抜と同様の取り扱いとする。(11~12ページ参照)

また、試験当日は「本学受験票」と「旅券(パスポート)」の両方を必ず携帯すること。

7 不正行為

一般選抜と同様の取り扱いとする(12ページ参照)。

8 合格者の発表

- (1) 第1次試験合格者の発表は、9ページの「試験日程」に示した日時に本学ホームページ (<http://www.okigei.ac.jp>) に受験番号を掲載する。
- (2) 最終合格者の発表
令和5年3月6日(月)午後2時に本学ホームページ (<http://www.okigei.ac.jp>) に受験番号を掲載するとともに、本人あてに合格通知書及び入学者心得(入学手続書類)を合格通知受信場所へ郵送する。
なお、本学への直接の問い合わせには応じない。

ホームページによる合格者等案内

- (1) 入学志願者状況案内 1月31日(火) 10:00～2月14日(火) 17:00
(2) 合格者発表案内 3月6日(月) 14:00～3月19日(日) 17:00

(3) 追試験合格者の発表

令和5年3月28日(火)午前10時に本学ホームページ (<http://www.okigei.ac.jp>) に受験番号を掲載する。合格者には入学意思の確認を行うので、当日は確実に連絡できるようにしておくこと。

9 入学手続

(1) 入学手続期間

令和5年3月8日(水)～3月15日(水)午後5時までに必着

入学手続書類は、「書留郵便で速達」とし、令和5年3月15日(水)午後5時までの必着とする。
(注意) 消印が3月15日以前であっても3月15日午後5時を過ぎて到着したものは受け付けない。

(2) 提出書類

- ア 誓約書兼個人情報の取扱いに関する同意書(本学指定様式)
イ 住民票の写し(または住民票記載事項証明書)もしくは、外国人登録原票記載事項証明書
ウ 入学料領収書の写し(A4サイズでコピー) ※原本の提出は不要
エ その他(合格通知書とともに送付する入学者心得に詳細説明)

(3) 入学料の納入

- ア 入学料 県内居住者 282,000円
県内居住者以外の者 512,000円

※県内居住者：入学の日(4月1日)の1年以前から引き続き県内に住所を有する者、あるいは、入学の日(4月1日)の1年以前から引き続き県内に住所を有する配偶者又は1親等の親族のある者。

- イ 納入期限 入学料は本学指定の納入通知書により入学手続時までに納入すること。
※入学料以外の授業料・学外研究費については、23ページの「学生生活」を参照。

(4) 入学料の減免について

一般選抜と同様に取り扱う。(13ページ参照)

(5) 手続場所 〒903-8602 沖縄県那覇市首里当蔵町1丁目4番地 沖縄県立芸術大学事務局教務学生課

(6) 留意事項

- ア 令和5年3月15日(水)までに入学手続を完了しなかった者は、入学の意思がなく入学を辞退したも
のとして取り扱う。なお、入学を辞退する者は、入学手続期間内に入学辞退届(本学指定様式)を提出
すること。
イ 本学への入学手続を完了した者は、これを取り消して、他の国公立大学に入学手続を取ることはでき
ない。
ウ いったん納入した入学料や授業料は、原則返還しない。

10 その他

私費外国人留学生の募集に関する上記以外の事項については、一般選抜の入学志願者に関する募集要項に定める事項に準じて扱う。

1 入学料及び授業料

- (1) 入学料 県内居住者 282,000円
県内居住者以外の者 512,000円

※県内居住者：入学の日（4月1日）の1年以前から引き続き県内に住所を有する者、あるいは、入学の日（4月1日）の1年以前から引き続き県内に住所を有する配偶者又は1親等の親族のある者。

- (2) 授業料 年額 535,800円（内訳 前期分267,900円、後期分267,900円）
納入期限 前期授業料は各年度の4月30日まで、後期授業料は各年度の10月31日までに納入すること。
ただし、納入期限が土・日曜日又は国民の祝日にあたる場合は、その翌日までに納入すること。

(3) 入学料及び授業料の減免

原則として高等学校の学業成績が3.0以上の者で、かつ、次の各号の一に該当する者を対象に、全額免除又は2分の1減額の可否を審査し決定する。

- ①天災その他不慮の災害により、学費の負担に堪えられなくなった者
- ②生活保護法（昭和25年法律第144号）による保護を受けている者と同一世帯内にある者
- ③前記①、②のほか、特別の事情により学費の納付が著しく困難な者

2 授業料以外に必要な経費

琉球芸能専攻では、次の経費が必要となる。

- ①琉球古典音楽コース 約70,000円（黒朝・ハチマチ・長着稽古着代）
- ②琉球舞踊組踊コース 約14,000円（長着稽古着代）

また、3・4年次に予定している学外研究費（選択科目）の経費として、実施年次に約150,000円が必要となる。

音楽学部音楽学科音楽文化専攻沖縄文化コースでは、3年次に行われる必修科目の経費として、県外施設等で研修する場合は、実施年次に80,000円～120,000円程度が必要となる。

3 奨学金制度

本学の学生で、人物、学力ともに優れ、かつ、経済的理由により修学が困難と認められる者には、次の奨学金制度がある。

- (1) 日本学生支援機構奨学金（貸与・給付）
- (2) （公財）沖縄県国際交流・人材育成財団奨学金（貸与）（沖縄県出身者のみ）
- (3) （公財）沖縄県立芸術大学芸術振興財団奨学金（給付）
- (4) その他（地方公共団体、財団法人、その他奨学金制度の適用）

4 学生教育研究災害傷害保険及び学研災付帯賠償責任保険並びに学研災付帯学生生活総合保険への加入

学生教育研究災害傷害保険（以下「学研災」という。）は、学生が①講義、実験・実習等への正課中、②学校行事中、③前記①、②以外で大学の施設にいる間、④大学施設外で大学に届け出た課外活動を行っている間、⑤通学中、⑥学校施設等相互間の移動中に不慮の事故により傷害を受けた場合に、保険金を支給する全国規模の補償制度である。

また、学研災付帯賠償責任保険（以下「付帯賠」という。）は、国内において、学生が正課、学校行事及びその往復中で、他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊したことにより被る法律上の損害賠償を補償する。

上記の保険は、保険期間中に応じた少額の掛金を一度納入することにより、当期間中の災害に対し、治療

日数及び災害内容に応じた補償がなされるので、万一の事故に備え、本学学生は全員加入すること。

なお、加入手続は、オリエンテーションの際に行う。

学研災付帯学生生活総合保険は、「学研災」及び「付帯賠」の正課・学校行事中を補償する保険では不足すると思われる、24時間補償の保険である。

「学研災」や「付帯賠」とは異なり、保険の加入手続等は引受保険会社と直接行うこととなる。（加入にあたっては、「学研災」や「付帯賠」に加入している学生に限り加入できる。）

※「学研災」及び「付帯賠」保険に係る掛金（保険料）と保険期間

	掛金（保険料）合計金額 （4年間分）	保険期間
学生教育研究災害傷害保険 学研災付帯賠償責任保険	4,660円	4年

（注）この保険に関する照会は、沖縄県立芸術大学事務局教務学生課に行うこと。

5 教員免許状

教育職員免許法に定められた所定の単位を修得すれば、中学校教諭1種免許状（音楽）と高等学校教諭1種免許状（音楽）を取得することができる。

6 個人情報の取扱い

（1）個人情報の利用目的について

出願及び入学手続にあたって記入した氏名、住所その他個人情報は、以下の事項に付随する事務処理を行うために利用する。

- ①入学試験実施（出願処理、受験票及び実施要項送付、試験実施）
- ②可否通知、入学手続書類の送付
- ③学生の福利厚生に資する情報の提供
- ④学業および学生生活に関する管理、連絡および手続
- ⑤大学の施設・設備の仕様に関する管理、連絡および手続
- ⑥本人および保証人への連絡、送付する各種書類の発送
- ⑦個人を特定しない統計処理

なお、不要となった情報の確実な破棄をはじめとし、提出された個人情報は個人情報保護法に則った万全の体制で管理する。

また、進路指導上、教育上の必要に応じて、受験者の入試結果および成績概要、在学中の履修状況や進路状況等を出身高校にお知らせすることがある。その際は本学と出身高校において守秘を前提とした万全の措置のもとに行う。

（2）個人情報の第三者提供について

本学が取得した個人情報等は、以下のいずれかに該当する場合を除き、第三者へ提供、取扱いを委託することはない。

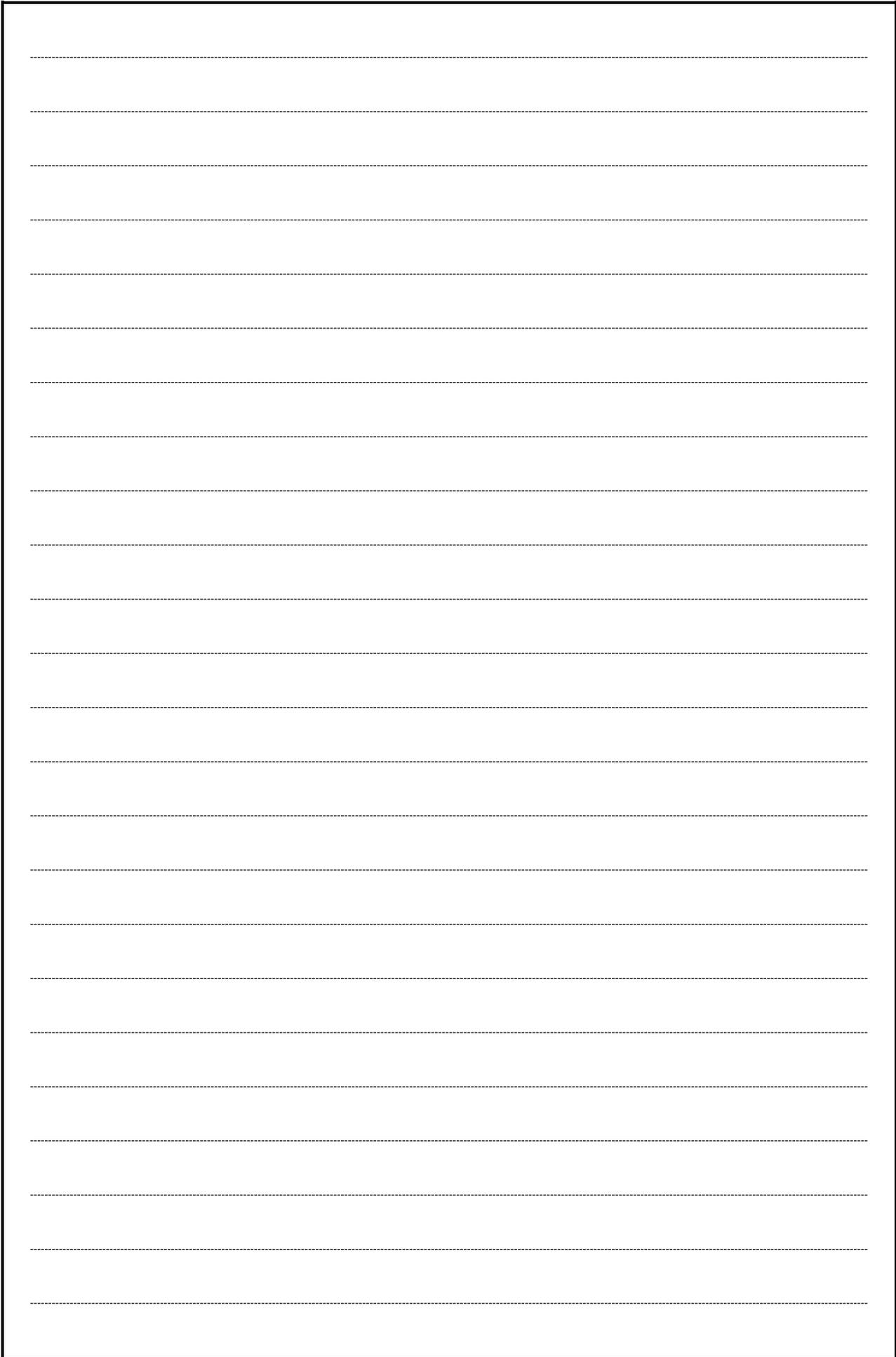
- ①利用者の事前の承諾を得た場合
- ②業務委託業者に対して、利用者に明示した利用目的の達成のために必要な範囲で個人情報等の取扱いを委託する場合
- ③法令の定めにより提供を求められた場合

（3）情報主体の権利尊重について

本学は、個人情報等に関する情報主体の権利を尊重し、情報主体から事故情報の開示、訂正もしくは削除、又は利用もしくは提供の拒否を求められたときは、社会通念や慣行に照らし適切な範囲でこれに応じる。

7 その他

- (1) 本学には、学生寮施設がないので、学生はすべて自宅通学又は借家による通学となる。なお、借家等の情報は、沖縄県立芸術大学事務局教務学生課において提供している。
- (2) 入学後の授業等で使用するため、入学までにパソコン（又はタブレット等）及びインターネットに接続できる通信環境を整えておくことが望ましい。推奨される仕様については入学手続き時以降に周知する。



出願書類等一覧表【一般選抜（前期日程試験・私費外国人留学生選抜）】

氏名

以下の書類を順序どおりにクリップでとめ、一番上に本票を添付し、封筒に入れること。

順序	一般選抜（前期日程試験）出願書類の場合	チェック欄
1	入学志願票（マイページよりカラー出力。共通テスト成績請求票を貼付する）	<input type="checkbox"/>
2	調査書（必ず出身高等学校長が作成し厳封したもの。出身高等学校より調査書が得られない者は以下の書類を提出する）	<input type="checkbox"/>
	卒業証明書及び成績証明書 （成績証明書が発行出来ない場合はその旨が記載された文書を提出する。また、日本語以外の言語で作成されている証明書は日本語訳を添付する）	<input type="checkbox"/>
3	（高等学校卒業程度認定試験合格者（大学入学資格検定合格者含む）） 合格成績証明書	<input type="checkbox"/>
4	住民票抄本等（県内に住所を有する該当者） 配偶者又は一親等親族の住民票抄本を提出する場合、戸籍謄本も提出	<input type="checkbox"/>
5	外国人は、旅券の写し。在留カードを所持する者は表裏両面の写しも提出	<input type="checkbox"/>
6	伴奏用楽譜（音楽表現専攻声楽コース入学志願者のみ）	<input type="checkbox"/> （該当者のみ）
7	作品（音楽表現専攻作曲理論コース入学志願者のみ）	<input type="checkbox"/> （該当者のみ）
8	音楽又は舞踊の実技の録音媒体（音楽文化専攻沖縄文化コース入学志願者のみ）	<input type="checkbox"/> （該当者のみ）
9	課題曲・自由曲の録音媒体（カセットテープ・CD・MD）（琉球舞踊組踊コース入学志願者のみ）	<input type="checkbox"/> （該当者のみ）

順序	社会人選抜出願書類の場合	チェック欄
1	入学志願票（マイページよりカラー出力）	<input type="checkbox"/>
2	最終学校の卒業証明書及び成績証明書等	<input type="checkbox"/>
3	志願理由書	<input type="checkbox"/>
4	住民票抄本等（県内に住所を有する該当者） 配偶者又は一親等親族の住民票抄本を提出する場合、戸籍謄本も提出	<input type="checkbox"/>
5	外国人は、旅券の写し。在留カードを所持する者は表裏両面の写しも提出	<input type="checkbox"/>
6	課題曲・自由曲の録音媒体（カセットテープ・CD・MD）（琉球舞踊組踊コース入学志願者のみ）	<input type="checkbox"/> （該当者のみ）

順序	私費外国人留学生選抜出願書類の場合	チェック欄
1	入学志願票（マイページよりカラー出力。旅券等の写しに記載される公式の郵便番号・住所を記載する）	<input type="checkbox"/>
2	最終学校の卒業証明書及び成績証明書等 （日本語以外の言語で作成されている証明書は日本語訳を添付する）	<input type="checkbox"/>
3	旅券の写し。在留カードを所持する者は表裏両面の写しも提出	<input type="checkbox"/>
4	住民票抄本等（県内に住所を有する該当者） 配偶者又は一親等親族の住民票抄本を提出する場合、戸籍謄本も提出	<input type="checkbox"/>
5	伴奏用楽譜（音楽表現専攻声楽コース入学志願者のみ）	<input type="checkbox"/> （該当者のみ）
6	作品（音楽表現専攻作曲理論コース入学志願者のみ）	<input type="checkbox"/> （該当者のみ）
7	音楽又は舞踊の実技の録音媒体（音楽文化専攻沖縄文化コース入学志願者のみ）	<input type="checkbox"/> （該当者のみ）
8	課題曲・自由曲の録音媒体（カセットテープ・CD・MD）（琉球舞踊組踊コース入学志願者のみ）	<input type="checkbox"/> （該当者のみ）

注1 この封筒は1人分のみとし、2人分以上を封入しないこと。

注2 受験番号欄（※）は記入しないこと。

※受験番号

速 達

9 0 3 8 6 0 2

書留郵便及び
速達料金の
切手を貼り
付けること

沖縄県那覇市首里当蔵町一―四

沖縄県立芸術大学事務局

教務学生課
行

書留

書留引受番号

差 出 人	出願区分	1 一般選拔出願（前期日程試験） 2 社会人入試出願 3 私費外国人留学生選拔出願 ※該当する出願区分を○で囲んでください。
	志望学部	音楽学部 音楽学科 _____ 専攻 () コース
	住 所	〒 _____ (電話) () _____ (方)
	氏 名	
	出身学校	都道 府県 _____ 学校 (電話) () _____

※日本国内からの出願は令和五年（二〇二三年）二月三日郵送発信局消印有効

※外国からの出願は令和五年（二〇二三年）二月三日午後五時必着